



VOL. 7 NO. 3 The University of the Ryukyus Library Bulletin 1974.4.1

新入生の皆さんへー図書館利用案内ー

1. はじめに

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。大学生活4年の間皆さんと図書館は切っても切れない関係にありますので、最も効率的に利用していただくために、以下図書館の紹介をいたします。

現在本図書館には 和漢書154,000冊、洋書50,000冊 合計20万4,000冊余の図書と、1,400種の和洋雑誌を所蔵しております。所蔵階別に申しあげますと、1階～2階は和漢書々庫、3階は和漢書の参考図書と閲覧室、4階は雑誌とその閲覧室、5階が洋書々庫およびその閲覧室となっております。1階から5階まで前館開架の閲覧方式をとっておりますので、皆さんは自由に書庫中へ入って自分の目指す図書を探し出すことができます。図書の排列は皆さんが高校で利用したことのある学校図書館と同様に、日本十進分類法(N. D. C)によって分類され、書架に排架されております。自由接架方式をとっているといっても、20万冊余の図書になると、そう簡単に自分の求める主題に近づくことができません。それで、あなたと「図書」を結びつけるKey(かぎ)のようなものが必要になってきます。この役割を果すのが「閲覧カード」です。当館には「分類目録」「著者名目録」「書名目録」「件名目録」の4種の閲覧カード目録と、洋書用に「辞書体目録」と「分類目録」を備付けてありますので利用してください。使い方がわからない場合は、気軽に職員に聞いてください。懇切ていねいに教えてあげます。

保健学部図書室(与儀の保健学部内にある)には、和漢書4,500冊、洋書8,300冊 合計12,800冊余の保健学関係の図書があり、開架式

閲覧方式をとり、貸出業務も同図書室で行っております。図書の排列は首里の本館とは異なり N. L. M. C (National Library of Medicine Classification) と言って医学関係の資料を対象にした分類法によって分類されております。

さて、皆さんが書架から選んできた図書はどんな手順を経て借り出すことができるでしょうか。

2. 図書貸借手続きの方法

当館の開館時間は次のとおりです。

開館時間 (平日)

月～金 午前8:30～午後9:00

土 午前8:30～午後4:00

開館時間 (休暇中)

月～金 午前9:00～午後4:00

土 午前9:00～正午

上記開館時間内に書架から自分の借りたい本を3階カウンターまで持ってきて、学生証を提示するとともに、借覧証に所定の事項を記入して係員に提出してください。貸出冊数は和漢書2冊、洋書2冊 計4冊までを10日間借用できます。10日過ぎると同一図書について/回だけ更に10日間の更新ができます。もし10日以内に返本をしなかったり更新手続きを怠ったりした場合は、10日間の貸出禁止処分を受けますのでご注意ください。

休暇期間中は休暇終了時までの長期貸出も行います。貸出冊数は和、洋ともそれぞれ3冊、合計6冊まで借れますので休暇中は大いに読書の時間に当ててもらいたいものです。

次に館外貸出禁止の図書について述べます。「琉球大学附属図書館閲覧規程」第8条に次のような規程があります。「次に該当する図書は貸出することができない。ただし館長の許可を得たものはこの限りでない。(1) 貴重書 (2) 辞典、年鑑、統計書、図表、法令集等基本参考書とみとめられるもの (3) 大冊書、書画等取扱上破損しやすいもの (4) 予約出版中の図書、特別そう書等 (5) 新聞、雑誌、公報等 (6) 特別指定参考書等 (7) 新刊図書で手続後/ヶ月を経過しないもの」

以上の図書は3階参考図書室と4階雑誌室および5階の洋書閲覧室に排架されており、利用者はこの階以外にこれらの資料を持出すことはできません。閲覧はそれぞれの階で自由に行ってください。

郷土資料についても館外貸出は行いません。また郷土資料は閉架式ですので、皆さんは上述のように自由に書庫へ行ってみることはできません。郷土資料を利用したい場合は、郷土資料目録(カード式目録と冊子式目録の両方あります)から借覧証へ資料名と所定の事項を記入の上カウンター内の係員へ提出してください。あなたの代りに係員がその図書をとりつけてあげます。

ところで、以上のような館外貸出禁止の図書および雑誌でも必要とする部分の複写ができますので、係員の許可を経て複写室でコ

ピーを依頼してください。複写枚数 / 枚に付30円で複写サービスを行っております。

3. リファレンス・サービス

図書館にはReference serviceを行う係（当館では「参考調査係」と称している）が置かれております。これはどんなことをする係かと言いますと、皆さんが何らかの情報を求めて、あるいは研究・調査のために図書館の資料を利用しようとする場合に、できるだけスムーズにそれが行われるように助力することです。つまり、あなたがある主題について調べようとするとき、先ず手始めにその主題に関する資料にどんなのがあるかを知りたいと思うはらずであります。その時参考調査係員に相談すれば、それに関する適当な資料を紹介してあげます。例えば「廃藩置県後の沖の教育制度について調べたいがどんな資料があるか」とか「沖繩の姓について詳しく書かれた資料がみたい」とか「/946~7年ごろ出されたアメリカ教育使節団報告書の載っている資料はないか」等といったような質問に対して回答例を教示するのもReference librarianの重要な仕事の一つになっております。

現在当館にはこのような参考調査係員が3階（和漢書担当）、4階（雑誌担当）、5階（洋書担当）の各階のそれぞれ最も皆さんに接しやすい位置におりますのでご気軽に相談に来てください。

4. むすび

当館は皆さんの図書館であります。高校生活と違って、大学では図書館ぬきの学習活動は考えられません。それは大学における教育方法が従来の教科書と講義だけに頼る方法から脱し、多様な資料を媒体とする学生自らの自主的学習、研究を中心とする教授方法への変革が要求されてきているからであります。本学でも「指定図書制度」等の導入により、従来の教科書中心の教育からの脱却を目指す学習効果に期待がかけられております。

向う4年間大いに図書館を利用して充実した学生生活を送ってください。

主要二次資料紹介—保健学関係—

世界で発表されている文献の数は科学技術に関する逐次刊行物（雑誌）だけに限っても約5万種にのぼり、これらのものに年間に発表される論文や記事の数は400万件を上回り、その数は8～12年位で増殖するといわれている。このような記事や論文を一次資料といっているが、このような大量の情報群の中から必要とする文献を選び出すのは容易でない。二次資料はこのような膨大な情報群の中から必要とする情報を効率よくさがし出すことを可能にするために、各種の一次資料を一定の基準で加工し、分類編集したものであり、一次資料（原資料、生資料、論文等）の内容や所在を知る上でまことに有用な情報源である。二次資料の主なものとしては蔵書目録、雑誌目録およびその他の書誌類と索引誌や抄録誌などをあげることができる。この稿では保健学に関する索引誌（Index）と抄録誌（Abstract）の主要なものを紹介します。学生諸君が在学中、あるいは卒業後に文献探索をする際の手がかりになれば幸いです。

1. 医学中央雑誌

国内の医学、保健学、歯学、薬学関係の文献探索には必ずの資料である。我が国で発行される医学、保健学、歯学、薬学関係の雑誌1,357種から論文を抄録し、その掲載抄録数は年間10万件に及ぶと言われている。この分野の国内最大の抄録誌である。人名、物件、難訓姓氏一覧がついており、内容は5グループに分け、更に23科目に分けられていて毎号数科目が掲載される。各号とも末尾に最新文献がつき、毎年9月末現在の収載誌目録を刊行している。医学中央雑誌刊行会から週刊で発行され、明治36（1903）の創刊である。

Time lag（おくれ、雑誌が発行されてから抄録誌または索引誌に収録されるまでの期間）は約4カ月から12カ月である。

本図書室が所蔵しているのは次のとおりである。

創刊号 ～ 199巻（明治36年～昭和49年）

302巻1号～ （昭和49年1月 ～ ）

2. 結核および呼吸器疾患の抄録速報

我が国で発行される数少ない抄録誌の一つである。各号とも「結核」「非結核性呼吸器疾患」「関連項目」「資料と展望」の4部から成り、1950年創刊で月刊である。内国雑誌211誌、外国雑誌111誌より約2500件の抄録を登載して、人名および件名の索引がつけられている。結核予防会の発行で、14巻（1963）までは「結核文献の抄録速報」であった。

3. Index Medicus (IM)

網羅的な索引誌の代表例として、まずあげなければならないのがIndex Medicusであろう。Index Medicus（以下I. M. と略す）

は米国国立医学図書館 (National Library of Medicine: NLM) から発行される月刊の医学雑誌記事索引誌で、収録する雑誌は全世界の約2,400誌あまりにおよび年間約20万件の記事を索引している。我が国の雑誌は解剖学雑誌など128誌が索引されている。IMはその歴史をたどると19世紀後半にまでさかのぼることができるNLMの前身である米国軍医学図書室 (The Library of the Surgeon-Generals Office) から、1879年に初めて刊行されたものである。そして幾つかの誌名の変遷を経て、1960年から現在のシリーズのIMが刊行されるようになり、更に1964年以後は MEDLARS (Medical Literature Analysis and Retrieval System) と呼ばれるコンピュータ化されたシステムにより刊行されている。

IMの構成は主題索引と著者名索引にわかれ、主題索引は Medical Subject Headings (MeSH) というシソーラス (件名標目表又は用語集) によりコントロールされた件名の下に文献の書誌的事項が配列されている。著者名索引は著者名のアルファベット順に書誌的事項が配列されている。これに Bibliography of Medical Reviews という総説記事だけを抜き出した書誌がついて月刊のIMを構成している。更に年間累積版である Cumulated Index Medicus も刊行されている。毎年1月号の別冊として MeSHがつき、別に収録誌をまとめた List of Journals indexed in Index Medicus が刊行されている。

IMを使用する際は 主題索引は MeSH に採用された標目 (Headings 見出し) でのみ検索が可能である。MeSH は毎年改訂されており、IMの刊行年に対応する MeSH であらかじめこの標目を確認してから実際に入ってください。Time lag は約3カ月です。

本図書館が所蔵しているのは第13巻 (1972) 以降のものである。

4. Biological Abstract (BA)

Biological abstract は非営利団体である Biosciences Information Service, Philadelphia. が1920年以来発行している抄録誌で生物学の領域では最も基本的総括的な抄録誌である。生物学は学問の性質上、医学薬学、農学等と密接な関係にあり、その範囲も極めて広い。BAの1971年の抄録掲載数はほぼ14万件もあるが、この分野を充分カバーすることができず、1965年から Bioresearch Index を新に発行し、BAに抄録が載らなかった関連文献の書誌的事項だけを追加している。1971年に Bioresearch Index で取扱われたタイトル数は9万件であるから、BAとあわせた総タイトル数は約23万件となる。抄録は Section Headings 毎にまとめられて掲載されている。また Section は Subject classification outline (各巻のNo. 1に掲載されている) によって細分されている。Vol. 51 (1970) までは Section headings は大きな主題毎に並べられていたが、Vol. 52 (1971) からはアルファベット順の配列である。抄録されている雑誌は7,200種以上にのぼり、これの List of Serials として別冊で発行され、国別ではヨーロッパ諸国のものが多くほぼ半数を占め

る。抄録の記載は前述の Section headings 毎にまとめて掲載され、各巻毎の通し番号がつく。表題が英語でない場合は、その原語の表題の他に [] 内に英語の翻訳が付される。ロシア語などローマ字以外で表現される言語の場合には、原語の表題をローマ字に翻字して載せるが、日本語の場合には英語表現のみである。また原語以外の他の言語による論文要旨がある場合はその旨表示されている。BAの論文要旨は著者抄録からとったものが多い。索引は各号の索引と、それらを巻毎に集積した年間索引とがある。索引には Subject index, Author index, Biosystemic index, The CROSS index がある。

(1) Subject index

これは英文表題の主要語 (Key word) で索引できるようにしたもので、コンピュータで作制される KWIC (Keyword in Content: 文節中に見出し語がある) 索引方式である。BAの場合は、この索引をBASIC (Biological Abstract Subjects in Context) と称する。Vol. 33 (1959) まではKWIC方式によらない普通の主題索引であった。

(2) Biosystematic index

この索引は生物の分類学的なカテゴリーとそれを含む抄録の番号を表示したものである。抄録番号の前の部分には抄録内容を簡単に表示した言葉が省略形で示されている。このIndexの最初の部分にある Explanation of Abbreviations used in Biosystematic index はこの省略形の解説の一覧表である。

(3) The CROSS (Computer Rearrangement of Subject Specialities) index

この索引はいわゆる Uniterm Index 方式で、見出し語 (subject headings) はおよそ500個あり、Index の最初の部分に Alphabetical listing of subject headings that appear in the CROSS index として示されている。

BAは年2巻毎月2回、Bioresearch Indexは年1巻毎月1回発行される。その他各号の索引を集積した年間索引が BA、Bioresearch Index のそれぞれについて発行されているが別売である。Time lag は4~6カ月である。BAは保健学部図書室の所蔵はなく首里の本館に Vol. 28 (1954) No. 1~から所蔵し、現在 Vol. 57 (1974) が入荷中で今後継続購読の予定である。

次に図書館および保健学部図書室で未だ購読していないが、比較的重要と思われるものを紹介します。

5. 環境公害文献集 (Bibliography of Environmental Pollutions)
日本科学技術情報センター (JICST) の発行で隔月刊である。

理工、医、農の分野における環境公害文献を年間18,000件登載するが、索引はついていない。理工学の部は抄録されているが、医学、農学の部は文献標題（欧文の場合和訳標題）のみが記載されている。

6. Pollution abstract

アメリカのOcean Research Institutionから発行され、隔月刊である。環境公害全般にわたり、年間9,000件の抄録が載せられる。公的な諸機関からの委託研究による論文の抄録が独立の欄に収載されている。索引はKeyword方式でKeytalpaと称する順列索引がつけられている。

7. 公害防止文献速報

科学技述情報株式会社発行である。水、衛生、大気の文献年間約6,000件が登載されている。Bulletin Signaletique, Eau et Assainissement, Pollution Atmospheriqueを和訳して刊行したものである。

8. Excerpta Medica

世界の医学雑誌3000タイトル以上から文献抄録を医学上の分類36部門に分け、分冊で発行する月刊誌である。著者索引が毎号ついている。又年間の件名索引と著者索引を発行している。抄録される雑誌のタイトル数と部門(Section)数は医学の進歩と共に増加する傾向にある。Excerpta Medica Foundation, Amsterdam, Hollandから発行されている。現在保健学部図書室ではSect. 35: Occupational health and Industrial Medicineのみ購読中で、Vol. 2 (1972)以降を所蔵している。

9. Current Contents

米国のInstitute for Scientific informationから出版され週刊である。学問領域を6分野に分け、各々分冊で発行されている。最も速報性の高い出版物で、雑誌の到着以前にその掲載記事の目次を知ることができる。保健学部図書室では全分野にわたって購読したいが、1974年からLife Scienceの分冊だけを購読することになっている。参考のために分野別の分冊名をあげておきます。

1. Life Science
2. Agricultural, Food and Veterinary Sciences
3. Behavioral, Social and Educational Sciences
4. Clinical Practice
5. Engineering & Technology
6. Physical and Chemical Sciences

10. 国内医学雑誌記事索引

ジャパン・メディカル・サーヴィス社の発行で、1970年創刊の月刊雑誌である。1972年より「一般医学雑誌編」と「学校、学会雑誌

誌編」の二部で構成される。「一般医学雑誌編」の収録誌は100誌で創刊時とかわらないが、「学校、学会雑誌編」は新たに200誌を収録しているので、収録誌数は300誌をかぞえている。

当館編集、発行の二次資料の紹介

1. 琉球大学附属図書館編「新聞記事索引—沖繩タイムス・琉球新報—第1集（人文・社会編） 1973. 625p B5判

これは県内で発行されている郷土紙「沖繩タイムス」および「琉球新報」に掲載された記事への索引誌（Index）である。収録範囲は、1950年1月から1970年12月31日までに両紙に掲載された郷土の人文・社会関係の記事をできるだけ網羅的に収録してある。記事の排列は、内容を〇からノ〇までに区分し、その中を更に細区分した項目の下に掲載年月日の古い順に記載してある。利用者はこの索引を手がかりに記事の掲載年月日と紙名を明記してカウンターへ提出すれば、求める記事の載っている新聞を閲覧することができる。

2. 琉球大学附属図書館編「公害関係新聞記事索引」 第1～2集 1973. 2冊 手書館内複写。

これも「沖繩タイムス」「琉球新報」に掲載された公害に関する記事への索引誌である。収録範囲は、第1集が沖繩で公害問題がクローズアップされてきた1965年ごろから1973年1月31日まで、第2集が1973年2月から1973年6月末日までに両紙に掲載された記事を掲載してある。公害問題は沖繩でも大きな社会問題となってきた。そういう意味から、本索引は時宜を得た出版物である。

琉球大学附属図書館“びぶりお”第7巻³号²⁶ [通号~~27~~号]

昭和49年4月1日 発行 編集兼発行人 平良 恵仁

沖繩県那覇市当蔵町3丁目1番地 電34-0101 (内333)